## 15日 日曜

### ダニエル

1:10 宦官の長はダニエルに言った。「私は、あなたがたの食べ物と飲み物とを定めた王さまを恐れている。もし王さまが、あなたがたの顔に、あなたがたと同年輩の少年より元気がないのを見たなら、王さまはきっと私を罰するだろう。」
1:11 そこで、ダニエルは、宦官の長がダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤのために任命した世話役に言った。
1:12 「どうか十日間、しもべたちをためしてください。私たちに野菜を与えて食べさせ、水を与えて飲ませてください。
1:13 そのようにして、私たちの顔色と、王さまの食べるごちそうを食べている少年たちの顔色とを見比べて、あなたの見るところに従ってこのしもべたちを扱ってください。」
1:14 世話役は彼らのこの申し出を聞き入れて、十日間、彼らをためしてみた。
1:15 十日の終わりになると、彼らの顔色は、王の食べるごちそうを食べているどの少年よりも良く、からだも肥えていた。
1:16 そこで世話役は、彼らの食べるはずだったごちそうと、飲むはずだったぶどう酒とを取りやめて、彼らに野菜を与えることにした。
1:17 神はこの四人の少年に、知識と、あらゆる文学を悟る力と知恵を与えられた。ダニエルは、すべての幻と夢とを解くことができた。
1:18 彼らを召し入れるために王が命じておいた日数の終わりになって、宦官の長は彼らをネブカデネザルの前に連れて来た。
1:19 王が彼らと話してみると、みなのうちでだれもダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤに並ぶ者はなかった。そこで彼らは王に仕えることになった。
1:20 王が彼らに尋ねてみると、知恵と悟りのあらゆる面で、彼らは国中のどんな呪法師、呪文師よりも十倍もまさっているということがわかった。
1:21 ダニエルはクロス王の元年までそこにいた。

Bible Reference 聖書の記述

ダニエルたちは、神様の命令に従って食べ物を制限していましたが、それと同時にこの宦官の長に対する配慮も忘れませんでした。独善的な信仰ではなく、また異教の人をないがしろにするのでもなかったのです。
彼らの真心は宦官の長にも伝わったのでしょう。彼はダニエルたちの申し出を受け入れました。ただ主と隣人のために生きて、自分たちには何の得もないような生き方のようですが、それが神様の祝福をいただく道です。そこに主の祝福があり、「彼らは王に仕えること」になりました。
彼らを恵みで満たした主は今も生きておられます。私たちも信仰によって生きましょう。信仰によって逆境を跳ね除けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？